

令和4(2022)年度 指定管理者制度導入施設 管理運営評価結果書

施設名称	郡山市男女共同参画センター		施設区分	事業実施型			
施設所在地	郡山市麓山二丁目9番1号		指定管理者	公益財団法人郡山市文化・学び振興公社			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日		施設所管部課	市民部男女共同参画課			
評価項目	評価基準	配点(標準点)	指定管理者自己評価	自己評価コメント	市評価	市評価コメント	特記事項
I 市民の平等な利用の確保							
1	平等利用	市民の利用にあたり、公平であるか。(例: 使用許可、使用料等の減免、利用の制限等)	2(1)	2	条例及び規則、施設申請受付マニュアルに基づき、平等・公平な取扱いを行った。多目的トイレ表示を誰でもトイレ表示に変更しジェンダーフリーにした。	1	条例及び規則、施設申請受付マニュアルに基づき、平等・公平な取扱いを行っていたが、市民提案制度による窓口サービス改善の提案・要望が1件あった。
2	危機管理、事故・災害等への対策・対応	事故・災害発生時又は危険予測時の対策・対応が行われているか。(例: マニュアル整備、訓練等)	2(1)	2	BCP(業務継続計画)及び施設管理要綱の改正。危機管理マニュアルや緊急連絡網を整備した。また、年2回の消防訓練を行い防災対応に努めた。	2	
		小計	4	4		3	
II 施設の効用の最大限の発揮							
3	管理運営方針	市が示している管理運営方針及び仕様書に合致した。施設の管理運営がなされているか。	4(3)	4	新型コロナウイルス感染症ガイドラインの運用及びBCP、施設管理要綱、情報セキュリティ要綱を改正し運用した。	4	
4	事業実施状況	計画どおり事業が実施されているか。サービス向上の取り組みがなされているか。	10(6)	8	ハローワークやNPO団体等と共催事業を6事業実施し、計画以上の事業回数となった。新型コロナウイルス感染症拡大により対面で開催できなかった事業についてはオンライン開催にするなど、状況に応じた対応を行った。	8	
5	広報・PRの実施	利用促進のための取組みを実施しているか。(例: 事業の開催案内、ホームページの管理等)	4(3)	4	SNS利用の促進として、ウェブサイトやFacebookは目標を超える回数を更新し、他施設連携での広報も行った。また、公式LINEアカウントを作成しイベント情報や「さんかくの窓」で男女共同参画関連の情報発信を行った。安心して来館できるように男子トイレにサンタリーボックスを設置した。	4	
6	接客態度	言葉づかい、態度、電話対応、名札、服装等は適切か。	4(3)	4	親切かつ丁寧な接遇を心掛け、丁寧な言葉遣い、態度、電話対応、名札、服装等に努めた。	4	
7	苦情・要望の把握・対応	利用者からの意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。(記録簿整備を含む。)特に重要な事案については、遅滞なく市へ報告しているか。	4(3)	4	利用者からの意見、苦情に迅速に対応した。さらに市への報告、施設内及び財団間で情報共有を行った。	4	
8	市、関係機関、類似施設、地元等との連携	市、他の指定管理者、関係機関、類似施設、周辺施設、地元等との連携を図っているか。(例: 施設間の回遊・相互利用、地元とのタイアップ、積極性等)	4(3)	4	ハローワークやウィメンズベースふくしま、しゅふコミと共催事業を実施し、子育て中の女性を支援する事業や性差別や暴力に関する講演会、地域ぐるみで子育てを推進するイベントを行った。また、当センターで実施した講座をハローワークの就業活動実績として認定されるようにした。さらに、上麓山福寿会や子供会に廃品回収、ラジオ体操会場として駐車場を貸出し地域との連携を図った。財団内の事業で施設を利用し稼働率向上に努めた。	4	
9	利用者アンケートへの対応状況	利用者アンケートによる指摘のうち、改善すべき事項について対応を図っているか。	3(2)	3	利用者アンケートによる指摘で、他施設利用者の駐車場の無断駐車対策やCO2センサーの導入など対応可能な事項は迅速に対応した。また、男子トイレにサンタリーBOXの設置、だれでもトイレに荷物入れの設置、臨時駐車場及び立体駐車場の案内図の作成・配布、市内公民館一覧を閲覧できるように図書コーナーに設置し利用者にスムーズな案内を行うなど常に改善意識を高く持っている。さらには、要望に応えた事業内容とし好評を得た。	3	
		小計	33	31		31	
III 管理経費の縮減							
10	帳簿管理・経理	帳簿等は適正に管理されているか。契約にあたり、適正な経費算定(積算)が行われたか。業務委託や修繕について適正な監督、検収が行われたか。	5(3)	5	財団規定に基づき、総務課とのダブルチェックにより適切な帳簿管理を行い、契約業務においても必要書類を整備し、現金管理も厳重且つ適正に行った。なお、監事による監査、公認会計士による会計指導を受けている。	5	
11	収入確保、支出の適正化等、予算の執行状況	収入確保の取組みを推進しているか。指定管理料を含め、支出が適正に行われたか。	5(3)	4	調理実習室利用促進のポスター・チラシを自主作成し財団施設等に掲示・配布し利用率を増加したり、光熱費や紙代の高騰に対応し、節電や事業チラシの印刷枚数の見直しや一括発注を行うなど経費削減にも努めている。	4	
		小計	10	9		9	

(様式2)

IV 管理を安定して行う人的、物的能力その他経営上の基盤							
12	人員・研修体制	人員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。必要な資格、経験等を有する人員が確保されているか。職員に対し研修を実施しているか。	5 (3)	4	適正な人員配置、勤務実績は適切である。全国の男女共同参画センターのZOOMによるオンライン配信や内閣府で実施するアーカイブ動画配信の講義を複数受講し職員と情報共有を行った。また郡山市総合防災訓練に参加し、避難所開設方法や災害時の対応を学んだ。	3	業務については、ほぼ要求水準通りであった。
13	収支状況	収支予算書どおりの収支状況となっているか。	5 (3)	3	光熱水費が高騰したが、節電対策によるコスト削減を行い黒字となった。	3	
14	連絡調整	協定書等に従い、市への各種届出、報告、提出、協議、相談等を適切に行っているか。市や地域、関係機関との連携調整を適切に行っているか。	5 (3)	4	協定書に従い、市への届出・提出等は適切に行った。また地震や大雨の被害報告も都度行なった。さらに、市や地域、関係機関との連携調整も適切に行い、事業計画の変更については、随時速やかに協議した。	4	
小計			15	11		10	
V 適切な施設の維持管理							
15	施設・設備の保守管理	法定点検が確実に実行されているか。施設・設備が適切に利用できるような状態が保持されているか。(修繕を含む。)	10 (6)	8	法定点検は漏れなく実施し、日常点検により施設の状態を把握し、計画的に必要な修繕を市の承認を受け実施した。	8	
16	安全の確保	建物・設備等が安全に利用できるような状態が保持されているか。	4 (3)	4	安全確保のための日常点検を行い、不良箇所については早期発見に努めるとともに、危機管理マニュアルの運用、施設管理要綱を改正した。また、安全衛生管理要綱を策定し、安全衛生委員会を設置した。職員の安全・衛生面の確保に努めた。	4	
17	清掃・衛生・美観維持	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。市の指定管理施設にふさわしくないチラシやパンフレットの陳列、ポスター掲示等はないか。	4 (3)	4	清掃・衛生に十分配慮し、新型コロナウイルス感染防止のため、ドアノブなどの共用部分や貸出備品の消毒等感染対策に万全を期した。また、アンケートにおいて施設がきれいで気持ち良く使用させていただいている等の施設の美観維持に努めた。	4	
18	備品の管理	備品が適切に管理されているか。	2 (1)	2	備品台帳と照合し、備品の数量・状態を把握し適正な管理を行った。	2	
19	持ち込み物品等の管理	持ち込み物品等が適切に管理されているか。(例：持ち込み物品等管理簿、表示等)	2 (1)	2	持ち込み物品管理簿を作成し適正に管理している。	2	
20	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告、手続き等を行っているか。	2 (1)	2	法令等の改正も配慮しながら、法令、条例等に基づき、必要な点検・報告・手続き等を漏れなく行った。	2	
21	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されているか。個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じているか。	2 (1)	2	職員全員が個人情報保護ハンドブックを保有し、個人情報の取り扱いに細心の注意を払いながら漏洩等の事故防止に努めている。情報セキュリティ要綱を策定し運用を進めている。	2	
小計			26	24		24	
VI 雇用及び地域経済への配慮							
22	雇用・労働条件への配慮	労働基準法等の労働関係法令、郡山市公契約条例等の遵守がなされているか。労働条件への配慮は十分か。	3 (2)	3	関係法令、条例を遵守し、ワークライフバランスの観点から有給休暇の取得促進の環境整備を図るとともに、コロナ休暇、フクチン休暇を全職員取得可能にすることにより働きやすい職場環境づくりに努めた。	3	
23	地域経済への配慮	計画通りに市内からの職員採用を行っているか。再委託は計画通り適正に行われているか。市内事業者への再委託を行っているか。	3 (2)	2	市内からの職員を採用し、再委託も地元業者への発注を優先し計画通り適正に行った。	2	
小計			6	5		5	
VII その他							
24	活動指標	設定した指標の目標値(提案事業に係る講座実施回数、ウェブサイトの更新回数)を達成しているか。	2 (1)	2	事業等のウェブサイト、Facebook、LINE等)情報発信を積極的に行った。目標値の12回から60回と大きく超えることができた。	2	
25	成果指標	設定した指標の目標値(施設稼働率、利用者数、ウェブサイトへのアクセス件数)を達成しているか。	2 (1)	1	新型コロナウイルス感染症で各部屋の定員の削減や事業のオンライン化の影響により、年間施設利用者数は目標値を達成できなかった。しかしウェブサイトへのアクセス数や施設稼働率は大幅に増加した。	1	
26	指定管理業務への姿勢	積極的な管理運営、市に協力的であるか。地域や民間事業者と円滑な関係を構築しているか。	2 (1)	2	市との連携・協力のもと積極的な管理運営に努めた。また、ウイメンズスペースふくしまやハローワークと連携し事業を実施するなど地域や関連団体との円滑な関係構築に努めた。	2	
小計			6	5		5	
合計点			100	89		87	

	実 績					合計
	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	
指定管理料 (千円)	43,411	40,936	43,181	43,451		170,979
利用料金収入 (千円)	560	379	371	454		1,764
利用者数 (人)	48,351	24,162	22,931	30,208		172,743
二次評価 (市の評価)	B	B	A ⁺	A ⁺		
備 考	新型コロナウイルス感染防止のため、女性リーダー養成事業(委託事業)の一部を中止、託児室・学習スペース・図書コーナーを2月下旬から閉鎖。 新型コロナウイルス感染防止のため、委託事業の一部を中止、休館期間4/18~30、5/1~18、調理実習室利用休止期間6/1~18、福島県沖地震による休館期間R3・2/14~17。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、委託事業の一部を中止、福島県沖地震の被害箇所確認及び施設点検のため、R4・3/17休館。 新型コロナウイルス感染拡大のため、男女共同参画フェスティバルをオンライン開催とした。					

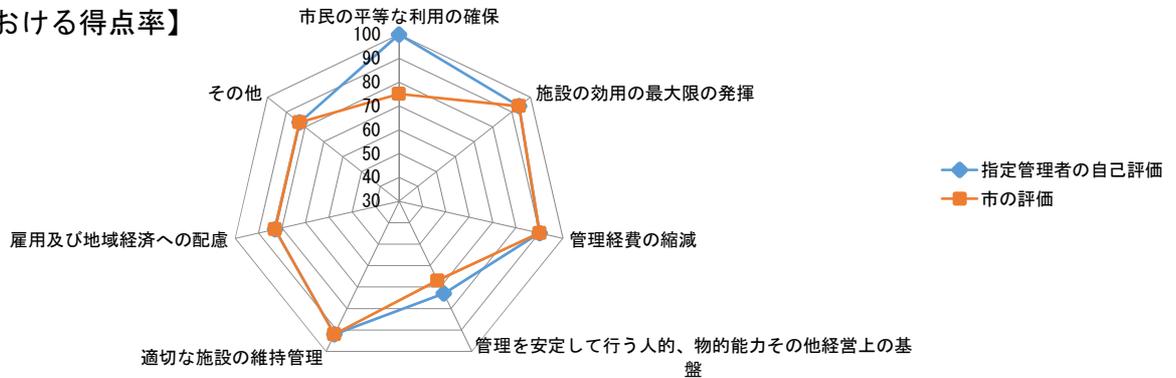
サービス向上対策

施設管理：多目的(障がい者用)トイレ表示をだれでもトイレ表示に変更/だれでもトイレに荷物入れを設置/男子トイレにサンタリーボックスの設置/他施設利用者の無断駐車を防ぐため、施設利用状況に応じた駐車場管理

コロナ対策：各部屋にCO2センサー導入及び換気の目安表示の掲示/ドアノブなどの共用部分や貸出備品のこまめな消毒

事業関係：情報コーナーに令和4年度に実施した事業内容をパネルにて紹介/しゅふコミと共催で子育て世代を対象とした事業を実施し好評を得た/パソコン講座や調剤薬局事務講座を昨年に続き就職活動実績として認定されるようにした。

【各評価区分における得点率】



【一次評価(指定管理者による自己評価)】

評価	点数	評価内容
A ⁺	89	【総合評価(評価できる点等)】 コロナ禍の終息が見えない中、事業をオンライン開催としたり、集客を効率的に行う方法としてLINEを導入した。カイゼン活動のテーマを「ソーシャルディスタンスしてもお友達集まれ!」とし、ロビーや廊下の休憩用の椅子のソーシャルディスタンス表示にLINE登録の方法を表示して新規のお客様獲得に繋がった。また、オンライン会議を導入し、業務の効率化を図った。 健康診断や職員の健康管理、職場環境について必要な事項をまとめた安全衛生管理要綱を定めたり、法改正に伴い、男性の育児休暇の拡大を行った。 【次年度に向けて改善が必要な点】 各講座の申し込みや施設利用料金の支払い等においてDX化を推進することで、利用者の利便性向上に繋がっていきたい。

【二次評価(市による評価)】

評価	点数	評価内容
A ⁺	87	【総合評価(評価できる点等)】 新型コロナウイルス感染症拡大が事業実施や市民の施設利用に影響を及ぼす中、男女共同参画フェスティバルのオンライン開催、こまめなウェブサイト更新やFacebookによる新しい情報の発信、LINE導入による新規利用者開拓等、積極的な事業展開を行い、利用者数、利用料金収入、ウェブサイトアクセス数が前年度より増加した。 また、利用者アンケートでの指摘や意見へも適切に対応しており、新型コロナウイルス感染予防対策として各貸室へのCO2センサー設置、男子トイレへのサンタリーボックス設置など、市民がより利用しやすくなる施設管理を適切に行っていた。 さらに、オンライン会議導入による業務の効率化、職員の安全・衛生面確保のための安全衛生管理委員会設置、また、法改正に伴う男性の育児休暇拡大等、働きやすい環境づくりに取り組んだ。 【次年度に向けて改善を望む点】 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染者増加などの状況が今後発生した場合も、男女共同参画推進の拠点施設として、安全安心な施設運営を望む。また、市民の意見や社会情勢、他施設の事例等を積極的に収集しながら、事業展開、適切な情報提供をし続けていくことを期待する。

【改善のための行動計画】

行動計画
【前年度の指摘事項】 新型コロナウイルス感染症の影響は未だ続いており、今後も様々な問題が発生すると思われるが、男女共同参画の拠点施設として、安全安心な施設運営を継続して行くことを望む。また、今後においても、積極的な情報収集を行い、市民のニーズに答えられるような事業の創出を期待する。
【改善対応状況】 できるだけ早い段階で定員を元に戻し、安心安全の施設運営に努め、積極的に情報収集を行い多様化する市民からのニーズに、より効率的に対応して参ります。